

～インドネシア 常夏のクリスマス～

12月といえば？秩父夜祭りに始まり、浦和の12日まち、けやきひろばのイルミネーション等この時期だけは毎年のように街並みは華やかになり、何となくウキウキした気分になるものです。高校では、期末テストが終わり、楽しいことがたくさん冬休みになります。

私が派遣されているインドネシアの高校でも、11月末から1週間、期末試験がありました。期末試験は科目数も多く、マークシート方式と記述式で行われます。私もテストの問題作成や試験監督として参加しましたが、生徒達は皆真剣に試験に取り組んでいました。

試験の次の週は、生徒主催のスポーツ大会です。その間、先生方はテストの採点、及第点に達しなかった生徒は職員室で追試を受けたり、課題に取り組めます。私の担当した、ひらがなの課題は「“あ～ん”を丁寧に書くこと」です。

そして、スポーツ大会の翌日は、学校のクリスマスパーティーがありました。

インドネシアといえば、イスラム教徒が多くを占める国です。そこで、クリスマスパーティー？と思われるかもしれませんが、私の派遣された高校は私立のキリスト教系学校です。

学校のロビーにはクリスマスツリーが飾られ、当日はかなり大がかりなクリスマスイベントが催されました。午前中は、生徒主催のクリスマスパーティーです。生徒達による合唱や、ジャワ舞踊、ガムラン演奏、パフォーマンス等々繰り広げられます。そして、トリは先生と職員一同による合唱です。私も、先生方と一緒に全く知らない歌を2曲、インドネシア語と英語で歌うということで、不安でしたが、練習の成果もあり歌い終えることができました。もちろん、会場はとても盛り上がっていました。

夕方からは教職員と家族、OBの方々対象のクリスマスパーティーです。ここでも、私たち教職員は合唱を披露し大変好評でした。



ロビーのクリスマスツリー



教職員一同による合唱

そして、今日はクリスマス。多様な宗教を認めているインドネシアでは12月25日は祝日です。ジョグジャカルタのショッピングモールにも、巨大なクリスマスツリーが出現して、インドネシア人の家族連れがサンタさんと写真を撮っている光景も珍しくありません。

生徒にクリスマスの過ごし方を聞いたところ、キリスト教徒のインドネシア人は教会へ礼拝に足を運び家族で過ごすのが一般的なようです。子どもたちにクリスマスプレゼントを贈る習慣もないそうです。他には、「旅行をする」「モールで買い物」と答えた生徒がたくさんいました。最近の若い人たちは、日本と同じでキリスト教の祝日としてではなく、イベントとしてクリスマスを楽しんでいるのかもしれません。



ショッピングモール「ハルトノモール」

「Selamat Hari Natal (スラマツト・ハリ・ナタル: メリークリスマス)」  
みなさん、良いお年を。